

---

# おばあさんとねこのクリスマス

りも

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

おばあさんとねこのクリスマス

### 【コード】

N9909X

### 【作者名】

りも

### 【あらすじ】

おばあさんとねこのクリスマスのお話。

ねごとおばあさんの夢はね・・・。

むかし、あるところに、おばあさんとねこがいました。

ねこは、木にのぼるのがすきでした。

おばあさんは、木にのぼるねこを見るのが、すきでした。

なぜならおばあさんは、こしがいたくて、もう木にのぼることができなかつたからです。

ねこは、にぼしをそのまま食べるのがすきでした。

おばあさんは、にぼしをそのまま食べるねこを見るのが、すきでした。

なぜならおばあさんは、歯がわるくて、もうにぼしをそのまま食べることができなかつたからです。

ねこは、夏、おばあさんのふとんの上で、長くなってねむるのがすきでした。

冬、おばあさんのふとんの中で、まるくなってねむるのがすきでした。

おばあさんは、夏、ふとんの上で長くなってねむるねこをなでるのが、すきでした。

冬、ふとんの中でまるくなってねむるねこをなでるのが、すきでした。

なぜなら、おばあさんとねこは、あつがりやさむがりです。さみしがりやで、お互いがだいすきだったからです。

そんなある年のクリスマス。

おばあさんはクリスマスがすきでしたが、もう子どもではなくおばあさんでしたので、サンタクロースからプレゼントをもらうことは

ないだろう、と、思っていました。

ねこは、クリスマスをよく知りませんでした。もう子ねこではなくおとなのねこだったので、やっぱりサンタクロースからプレゼントをもらうことはないだろう、と、おばあさんは、思っていました。

そこで、今年は、おばあさんがサンタクロースになって、ねこに、プレゼントをあげよう、と、思い立ちました。

そんなクリスマスイブ。

おばあさんは、こっそり、ねこのためのにぼしのプレゼントを用意して、戸だなの中にかくしました。

夜、ねこがおばあさんのふとんの中でぐっすりねむってから、そうと、まくらもとにおいておこうと思ったのです。

けれど、ねこはとても耳がいいので、おばあさんがそうつとふとんからぬけたそうとするたびに、ぱっちり目をあけてしまいます。

そのうち、とうとう、おばあさんも、ねむってしまいました。

やがて、すずの音がして、おばあさんが目をさますと、なんとということでしょう！

戸だなの戸がかつてにあいて、中からにぼしがおよぎだしたのです。窓にむかって、すいすいと。

いいえ、もう、かたくてしわしわのにぼしではありません。

しなやかでぴちぴちの、元気いっぱいのおさかなたち。

おばあさんは、こしをぬかしそうになりました。

「待って！ さかなたち！ うちのねこのプレゼントたち！」

あわてて、窓へとおいかけました。

するとどうでしょう、おばあさんも、ふわっと、およぎだして……。

いいえ、もう、こしのいたい、齒のわるい、おばあさんではありませんせん。

しなやかでぴちぴちの、元気いっぱいの子！

「すてき！ もういちど、小さな女の子になってみたかったの！」

窓がひとりでにひらき、さかなたちと女の子は、すーいすい、ふーわふわ、さそわれるように、庭の木へ。

ねこは、こしをぬかしそうになりました。

「ニャー！ ニャー！ ニャー！」

あわてて、窓から木へとおいかけました。

するとどうでしょう、庭の木は・・・、クリスマスツリーみたい！ あちこちにきらきら、かざりがいっぱいです。

よくみると、それは、にぼし。

そして、さかなのかたちのクッキー。

おばあさんの小さな女の子とねこは、おおよろこびで、だいすきなにぼしをぼりぼり、クッキーをさくさく食べました。

おなかいっぱい食べました。

そこへどこからか、またすずの音がひびいてきて・・・

気がつくと、おばあさんはふとんの中。

ねこもふとんの中で、まあるくなってねむっていました。

みんなゆめだったのでしょうか？

いいえ、ほら。

おばあさんがねこをなでようとしたら、なにかがてのひらにかざりとあたりました。

それは、てがみでした。こんなふうな。

おばあさんへ

わたしのおてつだいをしてくれてありがとうございます。  
サンタクロースより

おしまい。

(後書き)

よろしくお願いいたします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9909x/>

---

おばあさんとねこのクリスマス

2011年10月28日15時18分発行